

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 3年 4月 12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 小形 善信

下記のとおり報告します。

日 程 令和2年11月24日(火曜日)～ 令和 年 月 日(曜日)

活動先 関西学院大学 小西砂千夫先生

活動目的 市政の財政と今後の課題について

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙のとおり

令和2年11月24日 会派「創至」勉強会報告

関西学院大学「小西砂千夫先生」の講義 (小形善信)

コロナ禍の状況であった為、会派の全員が上阪する事を避け、小西先生にお越しいただき講義を頂きました。

この企画に当たり、前もって越前市の財政諸表を先生の手元にお送りし、また、講義日当日には先生に当市の財政課当局にヒアリングをして頂き、越前市の現況を理解頂くなどの準備をする中で開催致しました。

○以下に講義主旨を列記いたします

(財政分析の観点と既存の財政指標)についての観点

- 1、現金主義会計の健全性を中心とした分析
- 2、1年間の資金収支の健全性
- 3、実質収支+財政調整基金が一定程度あるかどうか
- 4、発生主義会計の要素を取り入れた健全性の分析
- 5、債務償還可能年限が平均償還期間を下回っているか
- 6、地方交付税制度の趣旨に沿った健全性の分析
- 7、地方債の償還財源の健全性
- 8、留保財源と留保財源で対応すべき公債費等とのバランスの適応

一昨年度の決算を見ても、越前市の実質公債比率は前年度の11.3%を上回る11.6%であり、県内9市の平均の8.3%を上回つており県内でも最悪な状況であった、また、国内の類似団体平均の6.9%を4.7%も上回ってしまっている。

将来負担比率も前年度の107.4%より18.8%悪化し県内平均の46.7%を79.5%も上回る126.2%であった。

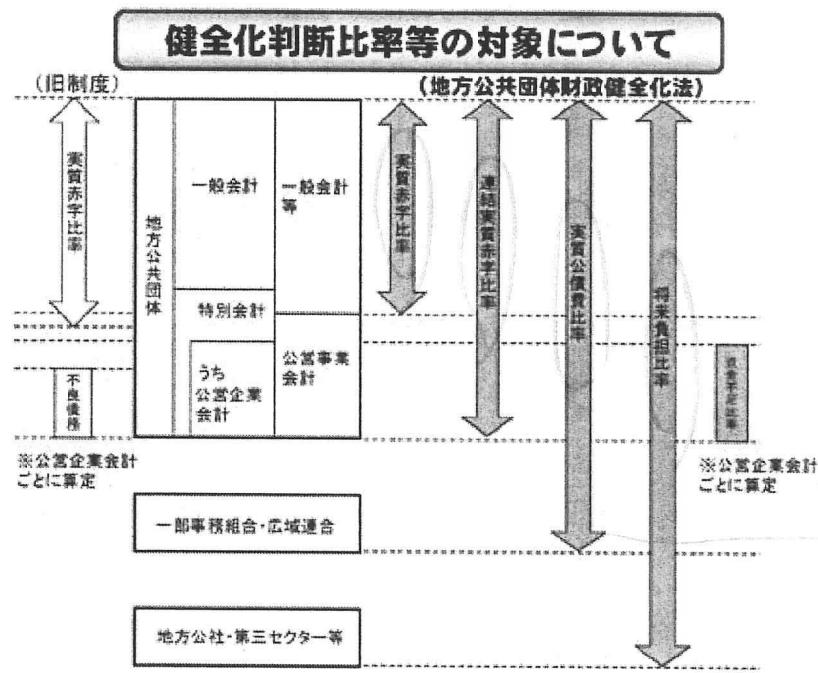
今年度はさらに悪化し148.9%になるであろう。
国の早期健全化基準値以下ではあるが、楽観視せず中長期的視野に立った財政運営が求められているのではないか。
先生も国の基準が間違っているのではないかともおっしゃられていましたし、越前市は今が限界ではないかとの指摘も受けました。



健全化判断比率の算定

健全化判断比率等の概要について

健全化法において、健全化判断比率等の対象となる会計は以下のとおりです。健全化法では、公立病院や下水道などの公営企業の赤字、地方公社や第三セクターの負債についても明らかにし、地方公共団体の財政の全体像を浮き彫りにします。



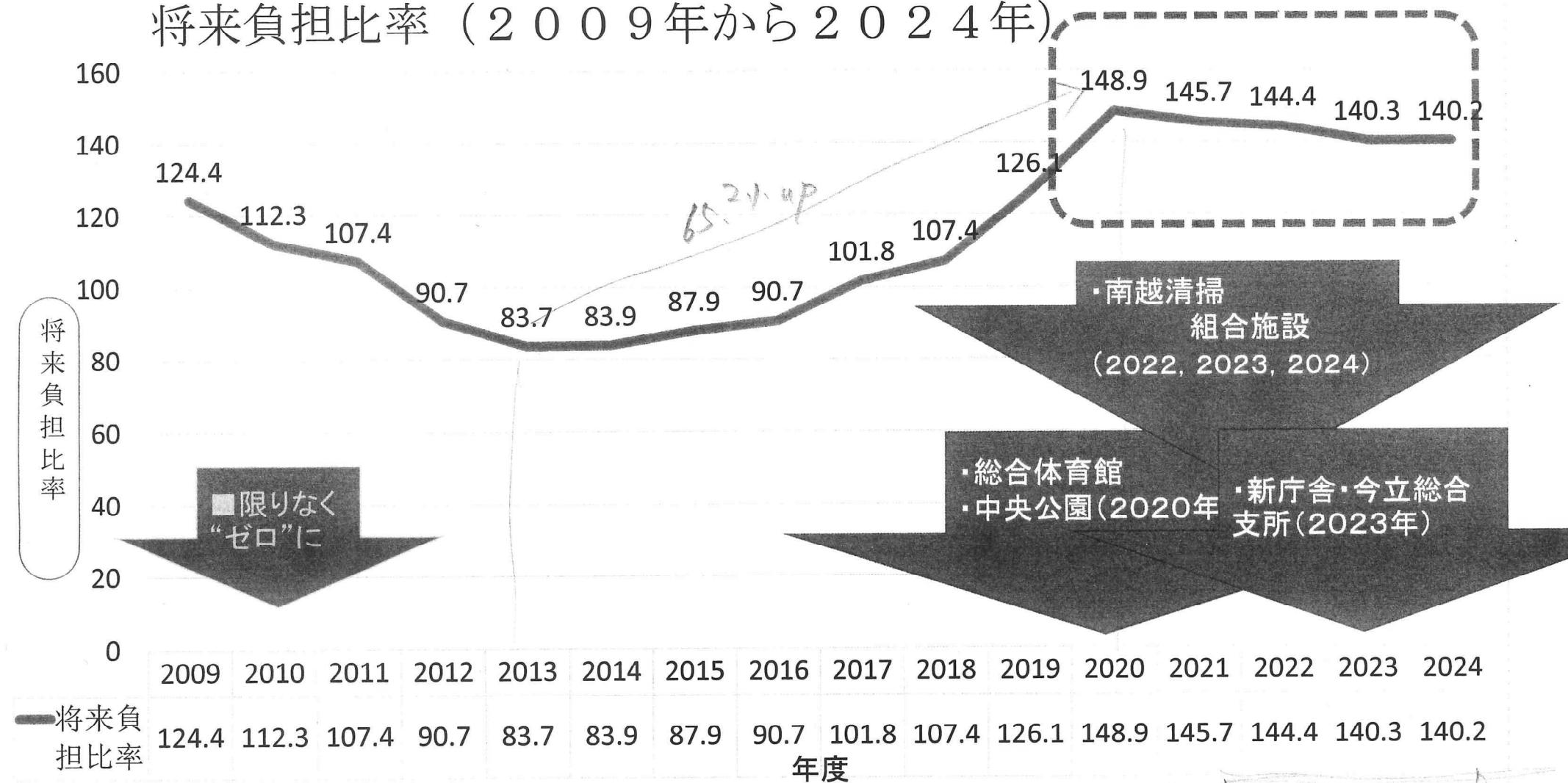
健全化判断比率の概要

健全化法においては、地方公共団体（都道府県、市町村及び特別区）の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、以下の4つの財政指標を「健全化判断比率」として定めています。

● 実質赤字比率

地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

将来負担比率（2009年から2024年）



様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和3年4月12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 小形 善信

下記のとおり報告します。

日 程 令和2年11月5日(木曜日) ・ 令和2年11月11日(水曜日)

活動先 「地域科学研究会」主催公演会

活動目的 With・post新型コロナにおける自治体政策対応

気象災害・予測と流域治水、防災力強化の方策

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙のとおり

「地域科学研究会」主催講演会 (メディア参加) 11月5日

With・Post 新型コロナにおける自治体政策対応

～行政体制・運営野あり方、条例の意義・制定・活用、中長期的対策・指針、感染好評方法～

(講師)伊藤正次 氏「東京都立大学大学院法学政治学研究科教授」

第1～2次地方制度調査会に参画し第3次では座長をされた先生より

人口減少社会の地方のあり方についての講演であった。

コンパクトシティよりネットワーク社会をキーワードとして考え、都市部の人口を地域へシフトさせることができるのかも見据え、ポストコロナの新しい社会・行政システムの構築については、デジタル社会を考慮すると共に地域間の広域連携とリダンダンシー（冗長性、多重防衛）（地理的に隣接した自治体の互いの協力）などの地方都市の在り方、連携の重要性を学びました。

<地域科学研究会>まちづくり行政シリーズ129

ニューノーマルは自治体行政をどう変えるか—

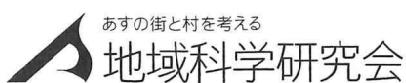
With・Post新型コロナにおける自治体政策対応

～行政体制・運営のあり方、条例の意義・制定・活用、
中長期的対策・指針、感染公表方法～

【講師陣】

伊藤 正次	氏／東京都立大学大学院法学政治学研究科教授
金井 利之	氏／東京大学法学部・大学院法学政治学研究科・ 公共政策大学院教授
磯崎 初仁	氏／中央大学法学部・法学研究科教授
山中 崇史	氏／大和市健康福祉部医療健診課長
脇領 義明	氏／茅ヶ崎市企画部企画経営課課長補佐

日 時：2020年11月5日（木） 10:30～17:30
会 場：厚生会館・会議室（東京・千代田区）



TEL : 03-3234-1231 FAX : 03-3234-4993
URL : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

※本資料の全部、または一部の無断使用・転載を禁じます。

1. With・Post 新型コロナと自治体行政 ～ニューノーマルにおける地方行政体制の あり方を展望する～

東京都立大学大学院法学政治学研究科教授
伊藤 正次

1. 2040年問題とニューノーマル
2. 行政のデジタル化
3. 組織の枠を越えた連携
4. 地域の枠を越えた連携
5. ニューノーマルにおける地方行政体制の展望

【質疑応答】

【伊藤 正次(いとう まさつぐ)氏プロフィール】専門は行政学、行政組織、地方自治等。首都大学東京准教授、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員等を経て、2020年4月より現職。著書に「ホーンブック地方自治」「他機関連携の行政学—事例研究によるアプローチ」等多数あるほか、内閣府公文書管理委員会委員、横浜市第3次大都市自治研究会委員等を務める。

With・Post新型コロナと自治体行政

～ニューノーマルにおける地方行政体制のあり方を展望する～

2020年11月5日

With・Post新型コロナにおける自治体政策対応研修会

東京都立大学大学院法学政治学研究科教授
伊藤 正次
itomasa@tmu.ac.jp

目 次

- 1 人口減少社会の危機
- 2 地方制度改革による対応：第32次地方制度調査会答申をめぐって
- 3 With・Post新型コロナと地方行政体制の展望

※本講演の内容は、個人的な見解に基づくものです。

「地域科学研究会」主催講演会（メディア参加） 11月11日

気象災害・予測と流域治水、防災力強化の方策

～豪雨災害事例にみる複合・連続・広域化への備えと新型コロナ対応の避難所計画～

（講師）三隅良平 氏 「国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門長」

ゲリラ豪雨、線状降水帯のメカニズム、バックビルディング等の気象知識から、災害時に「人は何故非難しないのか」を論点に講義されました。

平成30年の豪雨における広島市の対応と平成23年の新潟・福島豪雨や平成21年の兵庫県佐用町を事例として調査され、被災状況と住民の行動では住民は正常化バイアスの考えに陥り非難されないようである、災害経験があれば非難するようである。

気象庁や国からの報道を利用した情報発信に頼ることなく、自治体が独自でいち早く情報を発信するべきである事と、住民への危険度の知識などを普段から啓蒙することの重要性を学びました。

<地域科学研究会>まちづくり行政シリーズ130

With・Post新型コロナと避難所運営—

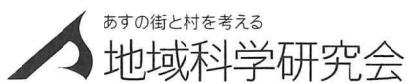
気象災害—予測と流域治水、防災力強化の方策

～豪雨災害事例にみる複合・連続・広域化への備えと新型コロナ対応の避難所計画～

【講師陣】

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 三隅 良平 | 氏／国立研究開発法人防災科学技術研究所
水・土砂防災研究部門長 |
| 鍵屋 一 | 氏／跡見学園女子大学教授
福祉防災コミュニティ協会代表理事 |
| 山田 正 | 氏／中央大学理工学部都市環境学科教授 |
| 榛沢 和彦 | 氏／新潟大学医歯学総合研究科特任教授
避難所・避難生活学会常任理事 |

日 時：2020年11月11日（水） 10:20～17:00
会 場：剛堂会館・会議室（東京・千代田区）



あすの街と村を考える

地域科学研究会

TEL：03-3234-1231 FAX：03-3234-4993

URL：<http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

※本資料の全部、または一部の無断使用・転載を禁じます。

気象災害の特性と防災情報 ～線状降水帯の予測と避難～

国立研究開発法人防災科学技術研究所
水・土砂防災研究部門長
三隅 良平

1. 豪雨のメカニズム

線状降水帯

2. 線状降水帯の予測

3. 人はなぜ避難しないのか

4. 気象災害予測の最近の研究

【質疑応答】

【三隅 良平氏プロフィール】

名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程中退、博士(理学)。専門は気象学で、災害を引き起こす激しい雨の発生機構や、東京スカイツリーを利用した雲粒の研究等を行う。主な著書に『気象災害を科学する』(ベレ出版)、『雨はどのような一生を送るのか』(ベレ出版)他。

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 3年 4月 12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 小形 善信

下記のとおり報告します。

日 程 令和3年1月15日(金曜日)～ 令和 年 月 日(曜日)

活動先 越前市民

活動目的 会派創立として議会活動を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

会派創立 2021 機関誌発行

- ・印刷業者 大沢印刷 (B4カラ-24,000枚) 支払額 160,000円
- ・新聞折込み 福井新聞 配布枚数 18,575枚 支払額 57,582円
- ・新聞折込み 福井広報センター 配布枚数 2,500枚 支払額 7,000円
- ・消費税 22,458円

合計 247,000円

(247,000÷5名=49,400) 1名の政務活動費は 49,400円

*会派創立として初めての機関誌を発行する

- ①会派創立の市民と語る会で皆様から頂いた提案等の報告
- ②市長に会派でまとめた次年度に向けての提言書提出
- ③個人としての活動報告等

会派・創至メンバー

小形 善信 題佛 臣一

吉村 美幸 清水 一徳 中西 昭雄

会派・創至 語る会を開催

10月27日・28日・29日に、市内3会場で「市民の皆様方と会派・創至との語る会」を開催させていただきました。以下に列記致しましたとおり、多くの御意見を頂きました。皆様の意見・要望は会派内で協議のうえ議会活動に反映させてまいります。

■瓜生産業団地造成の件で欠損したが、議員はなぜ認めたのか、大問題とすべきである。

損金の6,218万円は非常に重い金額である。我々の血税を大事に使え。頓挫理由は何か。

誰も責任を取っていない。責任は誰がとったのか、議会での対応を教えてくれ。

■(仮)南越駅周辺まちづくり計画においてオレオストシティ、越前市版スーパーシティって何だ。

現状の問題点は何か、新幹線駅前周辺整備は新幹線開業までに整わせるべきである。

道の駅周辺の開発については、先祖から受継いた地である、見通しと早急な対応を問う。

■春日野川の整備をしてほしい。春日野町地籍の砂防ダム、土石流、の現場を見ろ。

新幹線工事で大型ダンプが多く通過している、荒れた道路を早急に整備しろ。

■昨年の議会での語る会でも伝えたが「希望学園」の環境が非常に悪い。

移転するときに関係者の意見を聞いたのか。当時の教育委員会の対応と考え方を疑いたい。

■議事録削除の件で全国的に越前市の恥を上塗りをしてきたが、当事者の謝罪が見えない。

謝罪をしっかりしろ。裁判費用は36万円だが負けた市議会議員が負担すべきである。

■新聞記事で越前市の債務状況を見たがどう償還するのか、市民に負担をかけないように。

財政については危機感を非常に感じている、収入見通しに合っているのか。

50年に一度のまちづくりで建設された施設の維持管理費の増加状況を知りたい。

日々安泰な生活を求めている。子や孫に借金を残してまで投資をするな。夕張市と同じになる。

■市議会だよりが非常にみにくく。見せたい思いが伝わらない。

■冠山道が開通するが、越前市域の417号線周辺では経済効果を生かした開発を積極的にすること。

■今立地域にて公有資産である土地などを売却するが、地域への還元を考慮せよ。

■武生駅前線の整備等でどれくらいの活性化があるのか、効果は期待できない、無駄を省け。

■藤波亭の改装では何の活性化と効果を計画するものか、無駄なことはするな。

■議員の政務活動費削減論は理解できない、議員に仕事をするなという事か。

■市長と議員とは車の両輪である。議員はブレーキとアクセルを上手に踏め、また、政策や予算の組み替えなどを提案できるほどであれ。

■福祉計画にて自助、互助、共助、公助、を計画しても「地域支合い」は実態に沿っていない。

■武生商業高校の学舎を有効利用しろ、学生がものづくりなどの勉強ができる場にしては。

**多くのご意見をありがとうございました。
今後も自由に発言できる場を設けてまいります。**



※この機関紙は政務活動費で作成・配布しています。

市長に提言書提出

1 元気な産業づくり

- ・瓜生産業団地造成事業の中止の反省を踏まえ産業活性化プランの着実な推進と北陸新幹線南越駅(仮称)周辺エリアの具体的な開発計画と計画的進捗を求める。
- ・国道417号線の早期実現を目指し主体性をもって関連市町と共に要望活動を行うこと。
- ・並行在来線における関西・中京方面のアクセスについては快速電車の延伸を強く要望すること。



3 快適で住みよいまちづくり

- ・中心市街地が「越前市の顔」として活性化できるよう、引き続き賑わいの創出、居住促進、商業振興に対し支援を行うこと。
- ・中央公園はもとより、文化センター・市立図書館周辺の駐車場の確保を図ること。

4 安全で安心なまちづくり

- ・中心市街地の老朽空家の対策については支援を拡充し、さらに危険老朽空き家に対する市の強制力強化を図ること。
- ・今後も高齢化社会が進展していくなか、特に2025年、2040年を視野に入れた計画的な介護サービスの基盤整備を行うこと。
- ・外国人児童を取り巻く現状を認識し、日本人児童の取り巻く環境も鑑みながらさらなる多文化共生社会の充実と、外国人市民を雇用する企業と連携し子育て支援に対し企業内保育を要請し、同時に学校等での外国人児童に対する支援を継続的に行なう取り組んでいくこと。

5 市民が主役のまちづくり

- ・地域自治振興事業の内容や交付金の在り方については、自治連合会と協議をしながら見直しを図っていくこと。

小形 善信



「会派・創至」は、二元代表制の一翼を担う重大な責務のもと、地方公共団体の事務執行の監視機能及び政策立案機能を十分に発揮しながら、日本国憲法に定める地方自治の本旨を目指すものとして、会派各員を尊重しつつ自由闇達な討議を旨としながら市民の負託に応えるべく活動しようと結成いたしました。

会派の活動と致しましては、なるべく多く市内全域の皆様方からの御意見を聴取すべく、「創至・主催の語る会」を市内3会場にて開催させていただきました。多くの御意見を承りますと共に好評化を得てきたところであり、今後も同様の「語る会」を定期的に開催させ

ていただきます。

我々「会派・創至」では全体の奉仕者であるとの信念の元、「志」を一つにした活動をしてまいりたいと決意している所であり、今後ともご支援とご協力をいただきたいとお願い申し上げます。

さて、私は行政監視として、越前市の総合計画達成度評価について、外部評価導入のあり方、及び、中央公園周辺の不動産売却と、駐車場整備について質します。

政策立案については、電子自治体の推進は当然ながら、その先を見据えた質の高いサービスを市民に提供するには、AI・IoT(人工知能等)を導入し、効果的・効率的な行政運営にするようにと提案します。

また、住民の安全を保つ為の國の方針では、これまでより1.5倍もの大幅な事業拡大予算となることから、国土強靭化地域計画での当市の積極的な予算獲得についても提言を致しました。今後ともアンテナを高くして、政策提案に結びつくような議会活動を致したいと思っている所であります、皆様のご支援をお願い致します。

題別 臣一



「市民の意見を反映するのが 議会の責任と役割」

2021年がスタートいたしました。新型コロナウイルス感染症拡大の直撃を受けた市内の企業は、いまだ回復の見通しがたっていない。感染収束の兆しは見えず、コロナ禍の中でどう中小企業・小規模事業者が生き残っていくかが勝負の年になってくると思われます。コロナに負けない前向きな取り組みとして事業所等応援補助金や地域応援商品券などの市の取り組みは一定の評価はできるが、休業を余儀なくされ

た企業や経営自体が継続できない企業にとっては、満足の出来る支援とは言えません。今年も、コロナ禍の中での雇用問題や福祉分野の支援体制が重要な課題となってきます。更に今年は、労働分野の制度改正が新たに始まります。派遣労働者からの苦情対応を義務付け、障がい者の法定雇用率を0.1ポイント引き上げ、社員70歳までの就業機会確保の努力義務、「同一労働同一賃金」の規定を中小企業にも適用など、働き方にも大きな転換になってきます。また昨年の12月に突然、明らかにされた新幹線敦賀開業の遅れや建設費の増額に伴う財政負担を沿線自治体に求めることは許されない事であります。市の課題は山積みです。今年も会派創立は市政チェックの役割を果たして参ります。



語る会大盛況!

中西 昭雄



需要予測では2045年に412戸余剰となる見込みだが、今後困窮世帯の増など短期的な変動については住宅局、福祉部局と連携して対応していきたい。

Q.来年度最終年度を迎える中心市街地活性化基本計画について今後の課題や対策についてどのように考えるか、また老朽空き家を含め、中心市街地の木造住宅密集地域の安心安全の確保や整備についての考えは。

A.令和2年度末に庁舎前広場が完成し、令和4年度末に北府駅鉄道ミュージアムの完成予定など「まちの顔づくり」のためのハード整備事業は終了する。今後は賑わい創出や、商業・居住施策によるソフト事業の推進が重要である。

老朽空き家対策は危険な空き家の解体撤去の促進や空き家等の各種利活用策などの取り組みを図り、また木造住宅の耐震診断、耐震改修に対する補助制度を設け、併せて防火対策工事に対する補助金加算を行うなど今後とも積極的に市民の安全確保を進めていく。

Q.既存市営住宅の適切な維持管理と今後の需要予測に基づく供給予測について問う。

A.居住性向上のため特に給排水、給湯器設備、屋根防水、断熱工事を中心に改修を延1031戸(維持管理予定戸数781戸)行った、また今後の

令和2年12月議会では ■政策決定プロセスについて ■人生100年時代における越前市の高齢者支援 ■デジタル化への考え方・方向性の3点など、今回で26回目的一般質問をさせていただきました。

私は、その時その時の問題点を提起させていただきましたが、やはり財政、子育て、高齢者問題での質問が絶対的に多く、平成27年9月の議会から“半世紀に一度のまちづくり”について財政面での質問をしております。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止において、感染症対策の補正予算が相当組まれましたが、令和2年12月までの補正予算において、総額99億3,194万7千円が新型コロナウイルス感染症対策での予算、及び地方創生臨時交付金として執行される予定ですが、12月17日現在ではまだまだ執行率の低い事業もある状況です。

ところで、今日までの努力の割りに越前市の財政は健全化できていないと私は思っています。



半世紀に一度のまちづくりで建設された施設の管理費用も相当な金額となってきており、人口減少と超高齢化社会において、高齢者支援や子育て支援の経費がまだまだ増大していきます。

市当局より財政については健全化を図り、計画的、効率的、効果的な財政運営を行おうとの答弁は毎回聞いておりますが、なぜ執行率が低いのか精査しながら次の議会に繋ぎたいと思っています。

今後とも、本当に必要な事業にはしっかりと予算付け出来るよう提言してまいります。

清水 一徳



質問の冒頭に、コロナ禍だからこそ異なる意見であっても尊重する事や、融

和を図る「和を以て貴しとなす」の精神を持って議会に臨むことの大ささを訴えた後、「会派での市民との語る会」で指摘されました件を質問致しました。

Q.希望学園の現在の場所は、児童生徒の活動場所として、十分か、課題はないのか。

A.登録人数が増え、一時的に20人近くに達することもありますが、教室が不足する場合は、隣接する相談室を利用し対応している。

運動する場合は、週1回AW-Iスポーツアリーナを利用している。交通の結節点である駅前に立地していることで、子供の力で通園できる可能性や社会的自立学習の機会の増加が期待できる。市の中心部に位置しており、遠方に住んで居る場合でも、保護者があまり時間をかけずに送迎できることから移動は考えていない。

Q.越前和紙産業の課題で、伝統産業と文化財保

護の両面から、産業政策課と教育委員会の連携を密にすべきではないか。

A.越前和紙は、全国に誇る伝統産業であるとともに、市の歴史や文化を語るうえで欠かせない、貴重な文化財です。また、越前和紙は、絵画や書など、他の文化財を生み出すと共に、文化財修復にも多く使われる重要な素材でもあります。今後も国や県を始め、府内の関係部署と連携を密にし、文化財保護に務めるとともに、伝統産業の特性を生かし、本市の魅力を最大限に引き出します。

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 3年 4月 12日

越前市議会

議長 三田村 輝士 殿

議員氏名 小形 善信

下記のとおり報告します。

日 程 令和2年10月27日(水曜日)～ 令和2年10月29日(金曜日)

活動先 越前市 (王子保公民館・岡本公民館・吉野公民館)

活動目的 会派創立との語る会 (地域の課題や市政全般への意見聴取)

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

別紙のとおり

「会派・創至」での語る会報告

小形善信

会派の活動と致しましては、なるべく多く市内全域の皆様方からの御意見を聴取すべく、「創至・主催の語る会」を市内3会場にて開催させていただきました。多くの御意見を承りますと共に好評化を得てきたところであります、今後も同様の「語る会」を定期的に開催させていただきます。

我々議員は全体の奉仕者であるとの信念の元、なるべく越前市全域を対象とした議会活動をしてまいりたいと決意している所ですが、その原点として市民の皆様方の率直な意見を多く頂きましたので今後は議会活動に反映させていこうと思います。

尚、別紙にて市民の皆様方のご意見を集約して列記致します。

吉村4
吉村5
吉村6
吉村7

The poster features a banner at the top with the text '越前市議会議員 会派・創至と語る会'. Below the banner, it says '今回「会派・創至」は市内3か所で語る会を開催させていただきます。地域の課題や市政全般への御意見をお聞かせください。'. It shows five small portraits of the members: 小形 喜村, 遠藤 仁, 吉村 美智, 清水 一徳, 中西 朝臣. A section titled '開催内容' lists '一部 令和2年3月議会・6月議会・9月議会を終えての概要報告' and '二部 ご意見を伺いし、今後の議会での提案を盛みましての語る会'. A section titled '今年度議会での主な内容' lists various topics including COVID-19 impact, South Enmei Station area improvement, Central Park improvement, Melon production base, City's financial situation, and Local government support measures. At the bottom, it says '開催日時・場所につきましては、裏面をご覧下さい。'.

一部

令和2年 3月・6月・9月議会を終えての概要報告

- ① コロナ影響化における越前市の支援事業について
 - ★ 福祉の対応
 - ★ 生活困窮者の対応
 - ★ 高齢者の対応
 - ★ 小規模零細事業者の対応
- ② 南越駅周辺整備
 - ★ 南越駅周辺・スマートシティ・フォレストシティ
- ③ 中央公園の整備
 - ★ 大型遊具老朽化対策・水泳場再整備
- ④ 瓜生産業団地
- ⑤ 越前市の財政
- ⑥ その他

令和2年10月

会派・創至による語る会事業報告

市民の皆様方よりの意見(下記)

- 瓜生産業団地造成の件で欠損したが、議員はなぜ認めたのか、大問題とすべきである。損金の6,218万円は非常に重い金額である。我々の血税を大事に使え。頓挫理由は何か。誰も責任を取っていない。責任は誰がとったのか、議会での対応を教えてくれ。
- (仮)南越駅周辺まちづくり計画においてフォレストシティ、越前市版スーパーシティって何だ。現状の問題点は何か、新幹線駅前周辺整備は新幹線開業までに整わせるべきである。道の駅周辺の開発については、先祖から受継いた地である、見通しと早急な対応を問う。
- 春日野川の整備をしてほしい。春日野町地籍の砂防ダム、土石流、の現場を見ろ。新幹線工事で大型ダンプが多く通過している、荒れた道路を早急に整備しろ。
- 昨年の議会での語る会でも伝えたが「希望学園」の環境が非常に悪い。移転するときに関係者の意見を聞いたのか。当時の教育委員会の対応と考え方を疑いたい。
- 市議会だよりが非常にみにくい。見せたい思いが伝わらない。
- 議事録削除の件で全国的に越前市の恥を上塗りをしてきたが、当事者の謝罪が見えない。謝罪をしっかりしろ。裁判費用は36万円だが負けた市議会議員が負担すべきである。
- 新聞記事で越前市の債務状況を見たがどう償還するのか、市民に負担をかけないように。財政については危機感を非常に感じている、収入見通しに合っているのか。50年に一度のまちづくりで建設された施設の維持管理費の増加状況を知りたい。日々安泰な生活を求めている。子や孫に借金を残してまで投資をするな。夕張市と同じになる。
- 冠山道が開通するが、越前市域の417号線周辺では経済効果を生かした開発を積極的にすべき。
- 今立地域にて公有資産である土地などを売却するが、地域への還元を考慮せよ。
- 武生駅前線の整備等でどれくらいの活性化を狙っているのか、効果が期待できない、無駄を省け。
- 藤波亭の改装では何の活性化と効果を計画するものか、無駄なことはするな。
- 議員の政務活動費削減論は理解できない、議員に仕事をするなという事か。
- 市長と議員とは車の両輪である。議員はブレーキとアクセルを上手に踏め、また、政策や予算の組み替えなどを提案できるほどであれ。
- 福祉計画にて自助、互助、共助、公助、を計画しても「地域支合い」は実態に沿っていない。
- 武生商業高校の学舎を有効利用しろ、例えば、学生がものづくりなどの勉強ができる場にしては。K

市民の皆様方頂いたのちの今後の取り組み

10月27日・28日・29日に、市内3会場で「市民の皆様方と会派・創至との語る会」を開催させていただきました。以下に列記致しました通り、多くの御意見を頂きました。皆様の意見・要望は会派内で協議のうえ議会活動に反映させてまいります。



皆様の声をお聞かせください。 越前市議会議員【会派創至】との語る会

今回”会派創至”は市内3か所で語る会を開催させて頂く事になりました

■令和2年3月議会 6月議会 9月議会の報告

■12月議会での会派提案を鑑みましての語る会です。

○下記要領で開催させていただきます。

時節柄コロナウイルス対応のため、人数制限をさせていただいてます。

マスクと手洗い厳守をお願いします。

開催内容

10月27日（水曜日）王子保公民館（スポーツルーム・定員90名）：19時～20時30分

(東・西・南・北日野・王子保)

10月28日（木曜日）岡本公民館（定員60名）：19時～20時30分

(栗田部・岡本・南中山・服間・国高・味真野・北新庄)

10月29日（金曜日）吉野公民館（定員35名）：19時～20時30分

(神山・吉野・大虫・坂口・白山)

会派創至 小形 善信 題佛 臣一 吉村 美幸 清水 一徳 中西 昭雄

今年度の内容

① コロナ化における越前市の支援事業

★ 福祉への対応

★ 高齢者の対応

★ 生活困窮者の対応

★ 零細企業支援の対応

② 南越駅周辺整備について

③ 中央公園

★ 大型遊具老朽化対策による魅力向上事業

★ 水泳場再整備事業に係る公募設置等計画の選定結果について

★ 武生郵便局南側市有地売却の今後

④ 瓜生産業団地

⑤ 越前市の財政

⑥ 今立地域の福祉機能強化について

下



越前市議会議員 会派・創至との語る会

今回“会派・創至”は市内3か所で語る会を開催させて頂きます、
地域の課題や市政全般への御意見をお聞かせください。



会派・創至



小形 善信



題佛 臣一



吉村 美幸



清水 一徳



中西 昭雄

開催内容

一部 令和2年3月議会6月議会9月議会を終えての概要報告。

二部 ご意見を伺いし、今後の議会での提案を鑑みましての語る会。

今年度議会での主な内容

① コロナ影響下における越前市の支援事業について

★福祉の対応 ★高齢者の対応 ★生活困窮者の対応 ★小規模零細事業者の対応

② 南越駅周辺整備について

★駅前整備・スマートシティ・フォレストシティ

③ 中央公園の整備について

★大型遊具老朽化対策・水泳場最整備事業

④ 瓜生産業団地について

⑤ 越前市の財政について

⑥ 今立地域の福祉機能強化について



開催日時・場所につきましては、裏面をご覧下さい。▶

※このご案内は政務活動費にて作成しています。

下記要領で開催させていただきます。

各会場とも 午後7時より午後8時半の予定で開催いたします。

時節柄、コロナウイルス対応のため施設の定員を鑑みた、入場制限の場合にはご協力ください。

マスク装着と手洗いやアルコール消毒にもご協力ください。

10月27日(火曜日) 19時～20時30分

王子保公民館 (スポーツルーム・定員90名)

東・西・南・北日野・王子保の方々もお越しください

10月28日(水曜日) 19時～20時30分

岡本公民館 (定員60名)

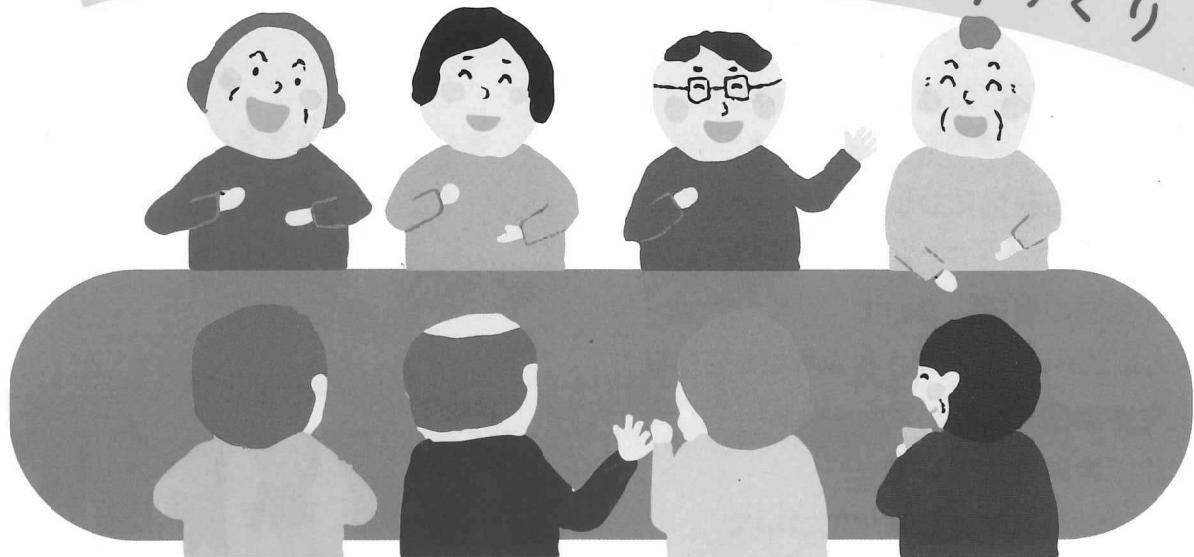
栗田部・岡本・南中山・服間・国高・味真野・北新庄の方々もお越しください

10月29日(木曜日) 19時～20時30分

吉野公民館 (定員35名)

神山・吉野・大虫・坂口・白山の方々もお越しください

安全・安心明るく元気な街づくり



皆様のご参加をお待ちしております!!